

足場の十分確保を

佐藤渡辺の石井社長 ガス管工事2現場巡視

佐藤渡辺の石井直孝社長は、東京都新宿、目黒両区の2現場を18日にパトロールした。建設業年末年始労働災害防止強調期間に合わせた取り組み。施設工事支店が東京ガスから受注したガス内管工事の現場などを巡視した。パトロールでは安全管理が徹底されている



ことや、働き方改革の取り組み状況などを確認した。パトロールを実施したの

は世田谷区営業所管内のガス内管工事(新宿区西新宿)と、南西営業所管内のガス管理設跡道路復旧工事(目黒区平町)の現場。パトロールには石井社長のほか堂尻伸二安全環境部長や長塚淳施設工事支店長、大石光洋施設工事支店安全環境部長ら5人が同行した。

現場を巡視した石井社長は「ガス内管工事は作業台や脚立を使用しての作業が多いため、脚立などの使用ルールを順守して転落・転倒災害などが無いよう努めること。また作業台上には余分な道具や配管を置かず、整理整頓をして十分足場を確保して安全作業に努めるように」と要請。ガス管理設跡道路復旧工事は「現場で決めたルールを順守し安全作業に努めるように。特に都内の歩行者が多い環境での作業なので第三者事故防止に十分配慮してほしい」と呼び掛けた。

